

8/9、朝から雨。4:00 起床、ジフィーズ・ピラフを食べ、小屋を出るころには、雨は上がり、歩き始めると霧が晴れた。



30分登ったところで休憩。  
単独の若い女の子と、写真を撮りっこした。

聞くと「室堂からテントで来た」とのこと。



槍をみながら、三俣まき道を歩く。途中、小川の水場が2か所ある。  
天気が良く、展望台の稜線万歩である。双六小屋前で休憩。トイレを借りる。



ここから弓折岳への稜線コースも、槍・穂高が見えてすばらしいコースである。  
雪渓、お花畑、ベンチもある。鏡平小屋からの登山者が多い。  
弓折分岐からは、弓折岳、2662mピークの上下がきつい。



抜戸岳の登りの途中の雪渓で水を取り、ラーメンを作って食う。  
美味しく頂き、元気がでる。この付近はお花畑が非常にきれい。  
ガスが出て、展望はないが、抜戸岳へのハイマツの稜線がきれい。



あまり上下ももなく、笠が岳まで快適に歩けた。途中でコーヒータイムをしていると雨がパラパラ降ってきた。雨具を付けて笠を登る。テント場を過ぎると、雨がやんで小屋に到着。



小屋はとてもきれい。今日も1つのフトンで部屋も快適。  
節水だが、水はタダ。



霧の中を10分登って、頂上で記念写真を撮る。



談話室でビール（600円）を飲みながら、他の登山者と歓談する。

夕方は小屋の外で、夕食を作って食べる。6:00ごろから晴れてきて、ブロッケン現象を見た。  
やがて穂高、槍も見えてきて非常にきれいな夕暮れを満喫した。





小屋の2階ベッドからの窓から、寝ながら槍・穂が見えるという贅沢な小屋であった。  
夜中、トイレにいったついでに外にでると、満点の星空、天の川が良く見えた！

